

平成 28 年度町政懇談会記録(要旨)

開催日：平成 28 年 6 月 23 日（木）
開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 28 分
場所：八幡新田コミュニティセンター
参加者：男 20 人、女 10 人 計 30 人
町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、政策課

○懇談

男性 前回の懇談会で、確か私は、町長にニンジンのお話をさせていただいたのですが、少子高齢化の問題で、町長がいろんな施策を行っていただいているところではあります。もっとひっぱくしたところが島根県や鳥取県など山陰地方にはあるわけで、もっとへんぴなところの町はどういうスタンスなのか、色々な資料は取り寄せているとは思いますが、私は、ニンジンをおぼらさげるというのもひとつの方法かなと思いますが、やはりニンジンはおぼらさげませんか。

町長 手法として、ニンジンを栽培してニンジンが収穫できれば、ニンジンをおぼらさげることはできるのですが、土地がやせていってニンジンができなくなっていったら、おぼらさげるニンジンもなくなります。これからそういう現状になってくると思っています。10 年ではなくてもっと先を考えたときに、われわれだけのこと、5 年 10 年のことを考えていいのかという気がしています。やはり 20 年 30 年、今日生まれた子が 20 歳や 30 歳になるときまで、そのときに東員町に居たくないと思ってしまうのではなしに、入ってきてもらうようなそんな政策をしていきたいなと思っています。行政がニンジンをおぼらさげるということではなくて、町民の皆さんと一緒に考えてまちづくりをしていくことではないかな、という気がしています。

男性 長期的なスタンスというのはよくわかります。ただ、45 年後の人口が 15,000 になるところ、目標は 19,000 人ということですが、どういうことをすれば 19,000 人になるのか、どこからこの数字がでてきたのかということも聞きたいし、住みたい町のアンケートをとれば交通の便がいいとか、買い物がいいとか、子育てが楽とか、色々条件がでてきます。町長がグローバルに考えてみえるのはわかりますが、子どもをこれから産もうというときには目の前のことが大事なんですよね。待機児童ゼロとか色々いっても、とりあえずは目の前の問題点をつぶしていくんです。大きな視野で考えるのはよくわかりますが、それははるか向こうの話で、10 年先 30 年先 15,000 人になるかどうかはわからないじゃないですか。ここ 5 年 10 年以内に方向性は見出さないといけないでしょうか。

町長

今のお話よくわかります。そのための施策を行っているつもりなのですが。今、非常に子育てしやすいということで、入ってきていただいているのは間違いありません。東員町は出て行く人と入ってくる人が一緒くらいなんです。傾向としては出て行くときは単身なんです。結婚して出ていくとか、転勤で出て行くとかです。入ってきていただくときは家族で入ってきていただくんです。家を買って、2人や3人、4人で入ってきていただいている傾向が続いています。山陰の方で1%理論というのがあるんです。総人口の1%の若い人が入ってくるとその地域は保たれるという理論があります。藤山先生という人ですけど、実は東員町は40歳以下の人が2.5%くらい入ってきてもらっています。これには子育て支援もあるのかとは思っていますが、もう1つは、東員町は海拔50mで、海岸線から10キロ以上離れていますから津波はこない。それと細かいのはありますが、大きな活断層はよけています。長良川のあたりに養老断層があって、鈴鹿山脈の布引断層はよけているのもあって、比較的安全なところというのがあります。問題は地域のバランスだと思っています。この稲部地域と神田地域は増えます。ところが、ネオポリス、三和地区は減るという傾向にあります。ネオポリス地域は人の循環を促さなければいけないと思っています。これは、政策的に可能性はあります。今可能性が薄いのは三和地区なんです。ここに、人をいれないと、バランスが崩れてきます。たとえば稲部小学校はいっぱいになってくる。稲部幼稚園は増築しましたよね。子どもが増えてきましたので。小学校も増築することになってくるかもしれない。ところが三和地区はどんどん空いてきているわけです。この無駄なスペースを減らすために三和地区へ子どもの誘導を考えていかなければいけないと思っています。規制がありますので、いま県と交渉しています。今一つ考えているのが60戸か70戸あるんですが、そこに入る人がいれば、空き教室がうまってくるのではないかなと思っています。こういうことを東員町全体で考えていくということが、15,000人を19,000人にするということになります。具体的に何をやるかをわれわれは考えていかなければならないと思っています。

男性

確かにミニ開発については子どもが増えていきますし、福祉とこの点については、町長もスタートのときから力が入っていましたし、そのような方向性に向いたまちの姿になってきたのかなと思います。あとは、子どもの問題と空き家の問題と、高齢者の問題は町長の絵に書いたような方向に向いているのかな、という気はします。

町長

空き家について去年調査しました。空き家で水道が止めてある家が142件ありました。そのうち、活用できるのは86件くらいあります。その空き家をどう活用していくかがこれからの課題だと思っています。1つは企業とコラボしてゲストハウスとかにできないか提案をしています。ゲストハウスなら、そこでまかないや掃除をしなければいけない。それを地域の人に任せてもらおうと、そこで雇用が生まれます。また、まかないをするならば食材がいらいます。地域の農業者と契約してもらえば、農業者も

目標をもって生産ができます。そういうしくみを作っていきたいなと思っています。空き家対策は東員町にとっても大事なことだと思っていますので、皆さんの知恵をいただきながらやっていきたいと思っています。

男性 この100件たらずの八幡地区に、この2、3年で40件近く住宅が増えました。地域としては活性化ということでありがたいのですが、現時点でなぜここを選ぶのか、ほかの自治体よりも東員町が明らかにうりだということはあるのですか？

町長 それは子育て支援だと思っています。そして東員町は安全、という2つの理由があると私は思っています。私がもう1つ加えたいのが、東員町は元気な高齢者が多いということを加えたい。そうすると鬼に金棒だと思います。若い人が東員町に住んで歳をとったとき、こんな元気な高齢者になるんだということになったら東員町を選ぶと思います。ですから、健康長寿の町を目指したい。これは、高齢者対策ではなくて、転入を促すためにも健康長寿のまちを掲げたいと思っています。

男性 私たち夫婦はこの地域に来て1年半になるのですが、今までは愛知県に住んでいて、この地域になぜ来たかといいますと、不動産に住宅メーカーに勧められて、何件か紹介していただいたときに、即決したんですよ。その日のうちに。近くに商業施設あり、病院もあり、交通機関も本数は少ないですがあります。金融機関もあるし静かだしいいじゃないかということで決めました。1年半が過ぎて家内と来てよかったかなと話していたのですが、来てよかったとなりまして、何がよかったかと自問自答しましたが、何も問題なく生活できるからよかったんじゃないかと自分では思っています。確かに、今まで住んでいた市の行政とサービスの差はあるものの、何も困ったことがない、来てよかったという印象が強いです。私たちの地域は新しい家が11棟あるのですが、私ども以外は、30代の方が多くて、夕方4時前くらいに小学校前の子どもさんとお母さんたちがわいわいと雑談されて、子どもたちが周りで遊んでいて和やかでいい感じだと思います。たまたま私たちの地域は道路が行き止まりで子どもが出て行っても通過する車がないのでいいのですが、何十区画の住宅を町がバックアップして宅地開発されるのでしたら、公園とはいいいませんが、ちょっとした広場を造ってもらったほうが、東屋のような屋根があれば一番いいですけど、公園になれば遊具の管理とか騒音問題とか色々あるんですけど、ちょっとした広場があれば若い奥さんたちや旦那さんも含めて、そこでまた集まりやすくなるんじゃないかなという気はしています。

町長 ありがとうございます。開発は基本的に民間業者さんがされますが、ある程度の規模を超えると公園を作らなければいけないという法的な規制もあります。小さいミニ開発ですと、業者も公園まで造っていると採算が合わないということだと思います。できましたら、八幡地区にもゲートボールするところとか、神社もありますので、そ

ういうところを利用していただけるとありがたいです。八幡地区はいざというときに行政や警察、消防を待っているのではなくて自分たちで見守りもしながら、助かる方法をみんなで考えている地域です。まとまりのある地域だと思っていますので、ここで楽しんでいただけるといいかと思います。

男性 子育ては行政ばかりじゃなくて、親が命をかけてするものだと思うんです。行政に頼ることも大事ですけど、親も子どもたちのことを真剣に考えていただけるといいと思います。

町長 ありがとうございます。ここに教育長がいればとても喜ぶと思います。

女性 私、去年東員町の教育委員会で実施された国語検定1級を挑戦したんです。ずいぶん勉強しましたが、受かることができました。あの企画は認知症予防にもなるし、私も自分に負荷をかけたいとも思っていたので、とてもいい企画と思います。

町長 今、国語検定1年生から6年生まであります。今度は算数検定と英語検定を作るらしいです。私も去年、国語検定を受けました。小学生の問題といってもあなどれず、なかなか100点取れません。楽しく脳トレができますのでぜひ受けてみてください。小学生のために作ったのですが、大人のためでもあります。また、この国語検定や算数検定のほかに教育委員会では、色々取り組んでいます。なわとび検定とか、読書登山という中学校卒業するまでに301冊読む取り組みもあって、本をあまり読まない子のために、1冊読んだらシールを貼っていくようになっていて、子どもたちも楽しんでます。そんなアイデアを出しながら、子どもたちが喜ぶように、そして大人も参加して楽しくやれるものを考えていますので、ぜひ皆さんもチャレンジしてみてください。

女性 三重県は全国の学力テストが悪かって新聞に載っていたので、びっくりして教育委員会に聞きましたが、三重県はそうですが、東員町はもっと上だと言われました。

男性 稲部小学校はまだモデル校なんですか。

町長 稲部小学校は色んなことをやっていただいています。県のモデル校だったときもあります。職業体験を小学校でやっているのは稲部小学校だけです。職業体験は普通中学生がやるのですが、頑張ってもらっているのがありがたいです。

男性 3つほどありますが、1つは人口問題として、地域としてテーマは、土地を売ったり買ったりすることは、個人よりも事業者の考え方に影響されます。地域の線引き、見直し例えば調整区域とかを東員町全体からみて、三和地域とかネオポリスの空き家

をとというのも大事ですけど、行政として、再度全体的なことを考えて取り組んでいただけるといいなと思います。それから、予算がありますが、広報にも載っていますが、円グラフの方がわかりやすい、それと一般会計は載りますが、特別会計がない。特に保険料のことが載っていないので、年寄りが増えてくると医療費にお金がかかるので、そういうことをわかりやすく載せていただけるといいかなと思います。ごみの問題で、10年くらい前、ごみは1日10万円くらいコストがかかると聞きました。今、ごみのコストがどれくらいかかるかわかるものがない。一人いくらいるのかというのをもう少しわかりやすくしてもらいたいかなと思います。もう1点、医療費がどうなっているのか、私らは高齢で1割払うだけなのですが、もうちょっと医療費についてわかりやすくできないかなと思います。歯医者に1回行ったらいくらかかるのか、日常のちょっとした病気でどれくらいかかるのか、医療費やごみについて、1人どれくらいかかるのか、というのをわかりやすく案内してもらいと非常にいいかなと思います。財政の冊子「まちしると一いん」みたいなものですね。

町長

まず土地については、5年間かけてやっていますが、非常に苦労しています。今、東員町のマスタープランを見直しています。そのなかで、調整区域をなんとかしたいというところがありまして、農林省や国交省とかに掛け合っていて、ようやくちょっと変わってきたんです。東海農政局が県と一緒に現状を整理してこいということになってきました。県が今まで一緒に話に乗ってくれなかったのが、農政と開発とが一緒になってそこに東員町が入って、ようやく話をしてくれるようになってきました。具体的にこうしたいというのを県に話をしますのでこのままつき進むように担当課長には言っています。企業誘致も土地が狭くてなかなかないのですが、東員病院の側が数少ない民間の土地です。ようやく1つなんとか決まりそうにはなっています。道路を少し広げなければいけないですが、なかの工事は始まっているようです。それと、おそらく8月に東員インターが開通します。その周辺は規制が少し緩和されます。その中で開発をしたいところもありますので、そこは企業誘致をしていきたいと思っています。

ごみ処理については、なかなか難しく、雑紙を回収するなど、減らす方向で取り組んでいます。一番問題なのは家庭から出る生ゴミです。今のごみ処理はRDFにして燃やしていますが、東員町が桑名広域に払っているお金は年間3億になります。これから新しい焼却施設の建設にかかります。今年から来年にかけて始まり、平成33年度から稼働という方向で進めています。今の計算でいくと、今3億払っているのが、新しい施設ですと償却を含めて1億減り2億になります。ただ、各市町の負担割合を変えたんです。33年から変わります。ごみを減らした自治体は料金が減るようにしましたので、皆さんと一緒にごみの量を減らしていただくと、負担するお金が減ります。これからは町民の皆さんも一緒になって努力していただいたら、ごみの負担も減りますので、ぜひ宜しく願いいたします。医療費については、わかるようにということでしたので、担当課と話をしながら、皆さんにわかりやすいようにしていきたいと思

います。

財政課長

予算のわかりやすい説明ということで、昨年、一昨年と「まちしると一いん」という形で町の財政冊子を作らせていただきました。内容についてもさらに検討しているところでございます。今年新しい取り組みとして、予算書をそのままホームページで見られるようにしています。決算につきましても、議会に提出した後で、ホームページで見られるようにしていく予定です。事業概要などもグラフを作っておりますので、こういったものも見られるようにしていきたいと思います。去年の広報で決算報告を円グラフで見やすいように掲載していますので、宜しくお願いしたいと思います。

総務部長

平成 27 年度はまちしると一いんを発行しなかったことについては、骨格予算でしたので、発行を控えさせていただきました。ごみについてですが、県内の 1 人 1 日あたりのごみの排出量は、平成 22 年は 860 g で翌年度は 843、次に 24 年 865、25 年 917 g と増えています。一人どれくらいかかっているか、三重県のなかでどれくらいなのかを、わかりやすいようにお示しさせていただきたいなと思っております。

町長

予算書や決算書をホームページにあげたところで、あまり見る人は少ないと思いますので、こういった予算の冊子をわかりやすく出していくのが必要だなと思っております。

男性

この間、高蔵寺ニュータウン再生市民会議の曾田先生という方にお会いしましたら、今ボランティア活動をやってみえまして、空き家をみんなの集まる場にして探していたそうですが、なかなか貸してもらえなくて困っていたところ、役所に入ってもらったことで役所の信用もあったのか貸してもらえたと喜んでいました。空き家を利用するにも役所に入ってもらうことで、まとまることもあるそうなので参考にさせていただきたいなと思います。

町長

空き家については考えていかなければいけない大きな問題と思っています。今、3 つくらいのパターンを考えています。地域の人が集まる場所が 1 つ、立地によってはお店に貸すか売り古民家を利用した商売をやってもらうのが 2 つ、もう 1 つは、企業とコラボして空き家を利用していくことです。ネオポリスの笹尾交番があったのを今、借りていただいて、憩いの広場をやっていただいています。改装はすべて自分たちでやっていただきました。今実は城山で同じことをやりたいという声が出てきています。地域の中で空き家を利用して集まる場所を作っていくことは非常にいいことだと思っています。地域の中で作ってもらって、誰でも気軽に来ていただいて、お茶を飲みながら話をさせていただくのはいいことだと思っています。空き家があれば行政もそこに入り接点を持たせていただきたいと思いますと思っております。